

令和3年度  
事業計画書

公益財団法人 山口県学校給食会



## 目 次

### 令和 3 年 度 事 業 計 画

事業目的・役職員等構成・学校給食会の事業	-----	2
1 学校給食用物資の安定供給に関する事業	-----	3
2 学校給食の充実発展及び食育推進の支援に関する事業	-----	4
3 学校給食用物資の安全及び衛生管理に関する事業	-----	6
4 設備投資について	-----	8
5 職員研修実施について	-----	10
6 修繕費について	-----	10
7 資産取得資金の積立について	-----	10
8 令和3年度 行事予定	-----	11

## 令和3年度事業計画

### 《 事業目的 》

本会の目的である、学校給食の円滑な実施とその充実発展及び食育の推進を積極的に支援するため、令和2年度に引き続き、「学校給食用物資の安定供給事業」による良質で多種多様な物資の提供とその価格の安定に努めるとともに、「学校給食の安全・安心」のため、ノロウイルスやO157等による食中毒、学校給食用物資によるアレルギー事故、重大な異物混入事故の防止に全力を尽くすこととする。

また、昨年度、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止のやむなきに至った「親子食育実践教室」をはじめとする各種イベントについては、今年度も新型コロナウイルスの感染状況を見ながら開催を判断することとし、助成事業などは令和2年度の実績を踏まえ引き続き実施していく。さらに、学校給食における地産地消の推進に寄与するため、地場産食材を使用した新商品の開発等にも積極的に取り組むが、令和元年度に発生した納入業者による産地偽装を踏まえ、産地確認、製造工場の立入調査等物資管理の徹底を図る。

令和3年度においても新型コロナウイルスの感染防止、給食用県産米の不足対策等本会を取り巻く環境は厳しいものが予想されるが、学校給食の円滑な実施とその充実発展のため公益財団法人としての役割を積極的に果たしていくこととする。

#### I 役員・評議員・職員等の数（令和3年4月1日現在）

理事 7名（理事長1 常務理事1 理事5）

監事 2名

評議員 9名

職員 11名（男 8 女 3） 再採用職員 2名（男 2）

臨時職員 19名（男15 女 4）

パート職員 3名（女 3）

#### II 学校給食会の事業

○学校給食用物資の安定供給に関する事業

○学校給食の充実発展及び食育推進の支援に関する事業

○学校給食用物資の安全及び衛生管理に関する事業

○その他（災害救助の支援物資の供給）

## 1 学校給食用物資の安定供給に関する事業

### (1) 種類別学校数・対象者数（児童・生徒・教職員）

完全給食 種 別		令和3年度（推計）		令和2年度		増 減	
		校数	人数	校数	人数	校数	人数
小学校	公立	276	70,405	278	71,520	△2	△1,115
	国立	2	823	2	836	0	△13
	計	278	71,228	280	72,356	△2	△1,128
中学校	公立	140	35,172	143	35,729	△3	△557
	国立	1	271	1	275	0	△4
	計	141	35,443	144	36,004	△3	△561
特別支援学校（国立含）		13	2,419	13	2,457	0	△38
合 計		432	109,090	437	110,817	△5	△1,727

※ 令和2年度数値は、山口教育庁令和2年5月1日現在「教育委員会・学校一覧（教育調査資料第207集）」による。令和3年度推計値は、各市町より県統計分析課提出の「年齢別人口報告書」（令和2年10月1日現在）を参考にして算出。校数は休校・分校を除く。

### (2) 物資取扱計画（数量・金額） ※税別、（ ）内は令和2年度の仮決算推計値

品 名	取扱数量	売上高 (単位：千円)
パン	5,600,000食 (5,241,000食)	261,400 (239,500)
委託炊飯（米飯）	395,000kg (371,000kg)	294,500 (274,000)
自校炊飯（精米・アルファ化米等）	585,000kg (550,000kg)	184,000 (173,000)
計		<b>739,900</b> <b>(686,500)</b>
一般食品		318,600 (301,200)
冷凍食品		698,900 (660,800)
非食品		3,300 (3,040)
計		<b>1,020,800</b> <b>( 965,040)</b>
合 計		<b>1,760,700</b> <b>(1,651,540)</b>

\*売上高（仮決算推計値）については、新型コロナウイルス感染防止対策として、令和2年4月、5月まで実施された休校措置に伴う学校給食中止などにより、例年通り学校給食が提供されなかったことが影響し、売上減となった。

### (3) 良質で多様な物資の調達

基本物資のパン用小麦粉、精米（委託炊飯、自校炊飯用）のほか一般物資として、規格、味覚風味、アレルギー対応など本会の基準を満たした約2,500品目を取り扱っている。基本物資のうち令和2年度山口県産米の収穫は、トビイロウンカや台風による塩害等の影響により「不良」となり、学校給食用米も全量を県産米とすることが厳しい状況となっているが、関係先と共に可能な限り必要量の確保に尽力する。

また、令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大により開催が出来なかったが、行政職員や栄養教諭等とで構成する物資選定委員会を開催し、本会が推薦する優良な物資を選定し、利用を呼びかけていく。

学校給食現場における、地産地消の推進による地場産物への希望が多いことから引き続き山口県の地場産物を使用した新商品の開発や、情報提供に積極的に取り組むこととするが、製造業者の指導監督には十分注意を払うこととする。

また、学校給食を通じた食育推進の一環として、鯨食習慣の継承にも寄与していく。

### (4) 安定価格の維持と安定的な供給

取扱物資の価格は、年度当初に公開し、年間を通じて公表価格以下に抑制し、給食内容の維持、保護者の負担軽減を図っている。

令和3年度においても、物資の価格は比較的安定しているが、公益財団法人としての役割を果たすため、製造メーカー等との交渉を通じ、できるだけ廉価で良質な物資の確保に努めることとする。

### (5) 配送体制の確立

冷凍冷蔵トラック10台、ミニキャブ（冷凍仕様）1台を配置し、山間部や離島を含めた県下全域に、1年を通じて遅配や欠配をすることのない配送体制を組むとともに、配送ルート of 効率的な運用を図る。なお、冷凍冷蔵トラックについては、配送途中での故障・立往生となるリスクを考慮し、令和3年度から、年式が古く走行距離が嵩んでいるものから順次入れ替えを行い、より安定した配送体制を確立する。

### (6) 物資の保管

調達の物資は、当法人が保有する常温倉庫（846㎡）及び冷凍冷蔵倉庫（約752㎡）で安全・安心の確保と衛生管理に努め適正に保管する。また、一括購入した季節品食材等については、民間倉庫に保管を委託する。

## 2 学校給食の充実発展及び食育推進の支援に関する事業

(1) 主催・共催（県教育委員会及び関係諸団体）で、学校給食関係者や保護者、児童・生徒を対象に各種の講演会・研修会を通じて食育推進のための支援事業を実施する。

#### ① 山口県学校給食研究協議大会

学校給食の意義と役割に関する認識を深めるとともに食育の推進等の一層の充実・向上を

図るため、衛生、食育に関する講演、栄養教諭・学校栄養職員等による事例研究発表を行う。

また、学校給食の優良学校及び学校給食功労者の表彰等、現場士気の向上を図る行事も併せて実施する。

開催日時 令和3年8月上旬  
会 場 未定  
主 催 山口県教育委員会、(公財)山口県学校給食会

## ② 親子食育実践教室

保護者・児童を対象に学校給食調理実習、意見交換を通じて、子供たちの望ましい食習慣の形成に役立てるとともに、学校給食の食材や献立、現状について理解と認識を深めてもらうための親子食育実践教室を開催する。また、調理講習に使用する食材は可能な限り県産食材を使用する。新型コロナウイルスの感染状況によっては、実施及びその方法について検討を行う。

開催日時 令和3年7月下旬(予定)  
主 催 (公財)山口県学校給食会  
共 催 山口県学校栄養士会

## ③ 学校給食料理コンクールの開催

夏休み期間に合わせ、山口県内の小中学校児童生徒の工夫に満ちた給食メニューを募集し、コンクールを実施する。また、入賞作品についてレシピ集を作成し、ホームページ等で紹介する。

募集時期 令和3年7月～9月  
審 査 令和3年11月～12月  
主 催 (公財)山口県学校給食会

## (2) 助成事業の実施

学校給食関係者の、学校給食の充実発展と食育の推進に関する活動の活性化や資質の向上に寄与することを目的に、以下の事業を実施する。

### ① 特定団体への助成

学校給食において重要な役割を持つ山口県学校栄養士会、山口県パン工業協同組合が実施する学校給食の充実発展、食育の推進に関する講演会、研修会などに助成金を支出し、活発な事業展開の支援を行う。

② 公募型の助成

学校給食に係わる者・団体等が児童生徒やその保護者を対象に学校給食の充実発展、食育推進に関する事業を実施する場合に、その事業費の一部を助成するとともに、学校給食関係者が、学校給食に関わる県外で開催される講演会、研修会等に出席する場合に、その旅費の半額を助成する。

③ 一般物資助成

学校給食関係者が、学校給食の充実発展、食育推進に関する事業を実施する場合に、必要な本会取扱いの食材を無償提供する。

(3) 施設の使用及び食育教材等の無償貸出事業

学校及び学校給食に係わる団体等に対し、当法人が保有する施設の使用及び食育教材（指導用年代別給食・郷土料理モデルレプリカ、ビデオ・DVD（教材用、衛生管理）、各種オードブル皿、紙芝居、拭き取り検査用キット等）の無償貸付を実施する。

(4) 山口県産品を使用した新商品の開発・情報発信

山口県産の食材を使用した新商品の開発を行うため、学校栄養士会、給食会、製造メーカーとの連携により、給食会のオリジナル商品開発に取り組み、これまで作成してきた県産ファイルをホームページに掲載し、広く情報発信する。

### 3 学校給食用物資の安全及び衛生管理に関する事業

(1) 物資の適正管理

① 一般物資の検査

細菌感染を防ぎ安全安心な物資を提供するため肉や魚などのうち、年間を通して使用頻度の高い国産牛のスライスなど30品目について、毎年学期毎に1回、年3回、細菌検査（大腸菌、ブドウ球菌、サルモネラ菌、腸炎ビブリオ、カンピロバクター）を実施し、それに類する20品目については各メーカーに対し、自主検査、公的検査による細菌検査表を徴求する。

また、冷凍野菜20品目についても、300成分の残留農薬検査を年1回実施。検査については（公財）山口県予防保健協会に委託、より安全・安心な物資を提供する。

② 基本物資の検査・検定

基本物資の精米・玄米・パン用小麦粉については、品質の確認（検定）を（一財）日本穀物検定協会に委託して実施し、玄米については、20地域の米の残留農薬・カドミウム検査を新米収穫時に一括して実施する。なお、令和2年産米の収穫量が少なかったことから令和

3年産米を収穫するまでは20の地域米ではなく、県産統一米とする。

③ 学校給食用パンの品質審査

学校給食用パンの品質向上のため、行政、県学校栄養士会、PTA等の代表者並びに専門家により、品質の審査を行う。また、審査の結果はパン加工委託業者、市町教育委員会、パン供給実施学校へ通知し併せて専門家による加工委託業者へ指導・助言を行い、品質向上を図る。

④ 本会オリジナル商品の産地確認・製造工場への巡検

令和元年8月本会がオリジナル商品の製造を委託している業者による産地偽装事案が発生したため、その再発防止策の一環として、本会オリジナル商品の製造を委託している7業者すべての工場へ出向き、衛生管理、製造工程、産地等の調査確認を行う。

(2) 学校給食用冷凍・冷凍冷蔵保管庫の無償貸付事業

学校給食施設において、学校給食用物資を適切に保管するため、平成6年から学校給食用冷凍・冷蔵保管庫を無償・無期限での貸し付けを実施してきたが、各学校給食施設で備え付けが一巡したことから、令和3年度からは新規貸し付けは行わず、これまで貸し付けを行った保管庫の廃棄処分等に係る事務のみ行うこととする。

(3) 学校給食施設等における衛生管理の支援

① 学校給食衛生管理指導者講習会の実施

各市町において衛生管理の指導的立場にある市町教育委員会、県立の学校給食関係者、栄養教諭・学校栄養職員等を対象として食中毒防止対策等の必要な知識及び実務的な対策方法を習得させ、衛生管理に関する指導力の向上を図る。

主 催 山口県教育委員会、(公財)山口県学校給食会

開催方法 オンライン開催

② 衛生検査器具の無償貸付事業

児童生徒に対し効果的な手洗いを指導するため、手洗いチェッカーやATP（拭き取り検査器具）・ふらん器などの貸出し及び試薬の無償提供を行う。

③ 指定委託工場の巡回調査実施

専門業者により、パンの製造や炊飯を委託している工場（11施設・13工場）に対し、年2回（8月、2月）、設備の衛生管理の状況を調査し、異物混入防止を含め、現場の衛生

管理が徹底するよう指導する。

④ 異物混入等への対応について（原因究明、改善対策指導・確認、報告）

重大な異物混入など給食事故を起こした加工委託工場に対し、必要に応じて専門業者による立入調査を実施する。

⑤ 加工委託工場ATP拭き取り検査について

加工委託工場の衛生管理取組体制強化を目的に調理器具の洗浄不足、雑菌の繁殖などの防止のため月1回拭き取り検査を実施する。

⑥ 職員の検便の実施

毎月2回実施する。（ノロウイルス検査1回含む）

## 4 設備投資について

令和2年3月から令和2年5月にかけて、全国的なコロナウイルス感染拡大に対応した学校臨時休業により学校給食が中止となった。引き続き財務状況は厳しい見通しであるが、令和3年度については、本会業務上不可欠である財務会計システムの更新と車両入替の必要最低限の事業に絞り実施する。

### <電算関連>

#### 1) 財務会計システムの更新

平成28年度に導入した財務会計システムについて、令和4年8月、財務系を皮切りに随時、保守サポートが終了する。

この終了によって、法令に即したプログラム変更や保守、電話等によるサポートが受けられなくなり円滑に本会経理業務を遂行する上で支障をきたすため、システムの更新を行う必要がある。

#### ○導入時期について

サポート終了は令和4年8月からとなるが、年度途中の8月で新システムに切り替えると新システム側で4月から8月までのデータをあらためて入力する必要があるなど非効率となることから、年度が始まる4月からの本稼働とし、そのためには令和3年度に導入しておく必要がある。

なお、給与系については、源泉徴収対象期間(1月から12月)に合わせ、年末調整の令和3年12月までは既存システムで行い、令和4年1月からは新システムを本稼働に先行して稼働する。

また、令和3年度の決算処理については、既存システムへ入力したデータで行うため、その作業が終わる5月までは稼働させておく必要がある。

#### <スケジュール>

令和3年 6月	導入システムを決定
令和3年 7月	導入打合せ開始
令和3年 10月	データ移行やカスタマイズ、テスト
令和4年 1月	給与系を先行稼働
令和4年 3月	本稼働前テスト
令和4年 4月	本稼働（財務・固定資産、人事等）

#### ○システムの選定

平成28年度導入から5年の間に、財務会計システムの機能や利便性等が向上しており、この機会に数社のシステム機能、利便性、価格等を比較検討したうえで導入を決定する。

#### ○費用について

規模や構成については既存システムと同等のものとしたい。

システム導入時、一時的に高額な費用が発生することからキャッシュ面での影響を抑えるため、今回システム費用、アップデート、保守等すべてを含んだ月額使用料方式を採用したい。

ただし、ハードウェアやカスタム費は初年度に別途費用が発生する。

#### ・新システム令和3年度予算

内訳 月額使用料（令和4年1月～3月分）

カスタム費用

ハードウェア

#### ・既存システム令和3年度予算

内訳 月額保守料

#### <車輛運搬具関係>

##### 1) 車輛の入替について ―新規事業―

本会は冷凍冷蔵機搭載の2tトラック10台を有しており、そのうち5台については、購入から10年以上、走行距離40万キロ以上となっているため、経年劣化に伴う修理が多くなっている。

このため、安定した物資供給体制維持の観点から、車両の更新が必要となっている。

令和3年度から随時、車輛の状態を見ながら入れ替えを行う計画とし、令和3年度は5台のうち故障の多い1台を入れ替える対象とするが、今回は厳しい財務状況からキャッシュ面への影響を抑えるため、一定額で利用できるリース方式により配送に影響が少ない夏休みとなる8月頃の導入を予定している。

残りの4台については、入替時の財務状況を見ながらリースまたは購入を検討する。

## 5 職員研修等の実施について

全給連主催等の研修会（職員研修、衛生管理研修、物資実務研修）を活用し、本会職員のレベルアップを図る。

## 6 修繕費について

本会施設・設備の大半が建設当時のもので耐用年数を超えており、老朽化が進んでいる。

令和3年度において、大がかりな修理は計画していないが、不測の事態に備え、ある程度修繕費が必要である。令和2年度は予算内に収まったことから、令和3年度においても同程度の額を計上する。

また、車両5台については10年以上の長期間使用していることから修理費用が嵩んでいる。

令和3年度においても修理費用が増えると考えられるが、5台の内1台は令和3年度に入れ替えを計画していることから、増額とせず、令和2年度と同額の計上とする。

## 7 資産取得資金の積立について

冷凍・冷蔵倉庫建て替えの原資とする当該積立については、期間を平成27年から令和6年までの10年間として計画した。（着工は令和7年度）

令和3年度は売上・財務状況を見ながら積立の実施について判断する。

## 8 令和3年度 行事予定

### (1) 役員会・評議員会の開催

①令和3年度第1回通常理事会	令和3年5月予定	県給
令和3年度年度定時評議員会 (令和2年度事業報告(案)及び決算(案)の承認ほか)	令和3年6月予定	県給
②令和3年度第2回通常理事会	令和4年3月予定	県給
令和3年度臨時評議員会 (令和4年度事業計画(案)及び予算(案)の決議・承認ほか)	令和4年3月予定	県給

### (2) 給食会主催

①物資選定委員会(年2回開催)	令和3年7月予定 令和4年3月予定	県給 県給
②親子食育実践教室	令和3年7月予定	県給
③学校給食用パンの品質審査	令和3年10月予定	県給
④学校給食料理コンクール(一次・二次審査会)	令和3年11月～ 令和3年12月予定	県給

### (3) 関連会議・研修会(全国、中国・四国ブロック、県内)

①全国学校給食会連合会関係		
全国学校給食会連合会第1回定例総会	令和3年6月25日	東京
全国学校給食会連合会第2回定例総会	令和4年2月18日	東京
全国学校給食会連合会管理職(事務局長・課長クラス)	未定	東京
全国学校給食会連合会実務(衛生管理)担当者研修会	未定	東京
全国学校給食会連合会初任者研修会	未定	東京
第16回食育推進全国大会(滝沢市)	令和3年6月26～27日	岩手
第62回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会(高崎市)	令和3年8月5～6日	群馬
第72回全国学校給食研究協議大会(札幌市)	令和3年10月21～22日	北海道
②中国・四国ブロック関係		
中国・四国九県代表者会議(岡山市)	令和3年11～12月予定	岡山
中国・四国物資安定対策協議会(高松市)	令和3年7月～8月予定	香川
中国・四国ブロック別研究協議会(山口市)	未定	山口
中国・四国幹部職員研修会(徳島市)	令和4年1月中旬予定	徳島
④ 県内		
山口県学校給食研究協議大会	令和3年8月予定	山口